

鎮魂のための蜂須賀桜の植樹

東北地域太平洋沖地震
2011年3月11日午後2時46分に発生
多くの犠牲者の方々を悼み
鎮魂のために蜂須賀桜を植樹する
(2011年3月18日植樹)

東日本大震災にて犠牲になられた多くの皆様に深甚なる哀悼の意を表します。蜂須賀桜は江戸時代には徳島城の御殿の中にあり、大きな幹に成長し、淡い紅色の花を2月中旬から、約1ヶ月間美しい花を咲かせます。毎年、美しい花が咲く3月11日には、今回の大震災を思い起こし、犠牲になられた方々の鎮魂と全学における防災の意識の向上を図ります。

寄贈者：犬伏俊郎 MR総合医学研究センター教授
原田弘基様「蜂須賀桜と武家屋敷の会顧問」

滋賀医科大学 学長
馬場忠雄



植樹された「蜂須賀桜」を前に、ご寄贈いただいた犬伏教授と柏木病院長



蜂須賀桜と鎮魂の記銘板



京都市東山区豊国神社の「蜂須賀桜」

